

2026年6月25日7時30分頃に岩手県沖で発生した地震（Mj 7.2; 気象庁）について、強震波形記録を用いた震源インバージョン解析を行った。

- 記録：K-NET・KiK-net・F-netの15観測点における速度波形三成分のS波部分（0.08–0.8 Hz）
- 解析手法：マルチタイムウィンドウ線形波形インバージョン
（小断層3 km × 3 km、1.0秒幅のタイムウィンドウを0.5秒ずらして5個並べる）
- 断層面設定：走向175°・傾斜22°（F-net解による）、大きさ33 km × 27 km、破壊開始点はHi-net震源位置
*ここで設定した断層面は解析の都合上仮定したものであり、必ずしも実際の断層面を反映しているわけではないことに留意
- 推定結果： $M_0=1.8 \times 10^{19}$ Nm（ M_w 6.8）、最大すべり量1.4m、Vftw 4.4 km/s
主たる破壊は破壊開始点付近に集中し、主に西に伝播した。

図1：観測点の分布と断層面の地表投影。星印は破壊開始点を示す。

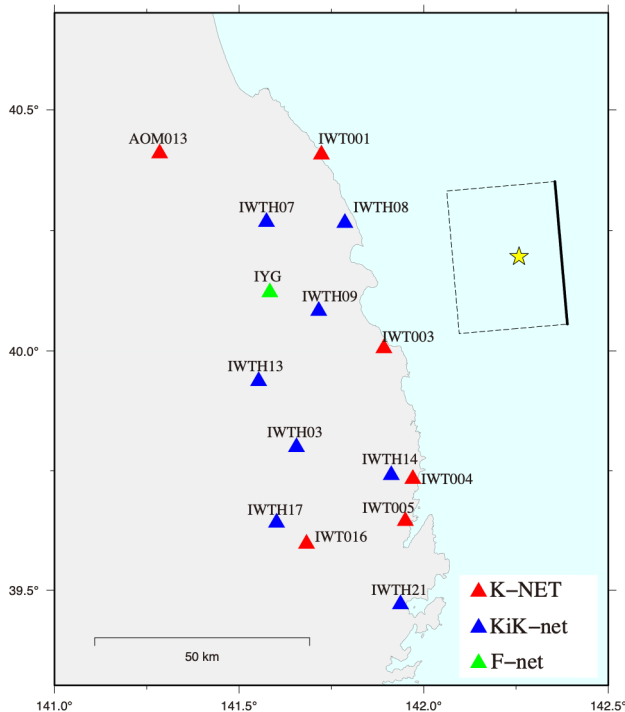


図2：2026年6月25日岩手県沖の地震のすべり分布の地表投影をカラーで、破壊開始点を黒星で示す。

